



1本でも歯は残す 幾つになっても自分の歯で食事を

平成18年3月より岩美病院歯科へ着任された池田貴之先生をご紹介します。

Q 着任されてこれまでの間のご感想をお聞かせください。

A 着任して2ヶ月が過ぎようとしています。地域に密着した医療に取り組んでいる岩美病院ですから、歯科技士・衛生士・看護師の皆さんが本当に患者さんの事を色々な面をよく知っておられると感じますし、患者さんからも信頼されているという印象があります。

Q こんな事に取り組んでいきたいといったことがありましたらお聞かせください。

A これまでの勤務先では、重傷になった患者さんの最終的な砦となる治療を行うことが多く、患者さんが来られたときには「ここまで放っておくのか。」と思うような口腔内の患者さんもいました。そこで感じていたのは『もう少し初期の段階で手当てしていれば、1本でも多くの歯が残せたの。』という思いでした。『うう』といった思いから、これまでも行ってきたのですが、予防的な働きかけに、より力を入れて取り組んでいきたいと考えています。

Q 町民の皆さんへ一言お願いします。

A 歯は大事です。生活していく上で食事は欠かせませんし、食事をするためには歯が大切な役割を果たします。少しでも口の中の事をわかっていただき大切にしてほしいです。当科では歯の治療の他にも、口の中についての相談・歯のクリーニング・親知らずの抜歯等も行っておりますので、気軽にご相談ください。

地域に**密着**した
医療を目指して